



# 平成30年度予算案

～次世代へ横浜をつなぐ、  
新たな一歩を踏み出す年～



平成30年1月30日

## 経済の活性化

- 中小企業の人材確保支援、魅力ある商店街づくり支援
- 「I・TOP横浜」「LIP.横浜」等  
オープンイノベーションによる成長・発展分野の強化
- 戦略的な企業誘致、海外ビジネス支援、米州事務所開設



自動運転プロジェクト  
「I・TOP横浜」キックオフイベント

## 文化芸術創造都市の実現

- 新たな劇場整備の検討・調査
- Dance Dance Dance@YOKOHAMA2018の開催
- 区民文化センターの整備（瀬谷区、港北区、都筑区）



Photo:bozzo

Dance Dance Dance@YOKOHAMA2015

## 第7回アフリカ開発会議の準備(2019年開催予定)

## ラグビーワールドカップ2019™

## 東京2020オリンピック・パラリンピック

- 海外プロモーションの強化（企業誘致、海外誘客）



日豪青少年ラグビー交流フェスティバル

## ガーデンシティ横浜の推進

- 全国都市緑化よこはまフェアの成果を継承  
(みなとエリアや里山ガーデンなどで展開)



マスコットキャラクター  
「ガーデンベア」  
©ITOON/GN2017



第33回全国都市緑化よこはまフェア  
港の見える丘公園（香りの庭）

## 環境未来都市の取組強化

- 「SDGs未来都市」選定に向けた挑戦

## 食品ロス削減の推進

- 公民連携による「食べきり協力店」の拡大



スマートイルミネーション横浜2017

～ 地域包括ケアシステムの構築・推進 ～

## 2025年に向けた医療機能の確保

- 病床機能の確保、在宅医療の充実
- ICTを活用した地域医療連携の推進

## 特別養護老人ホームの整備

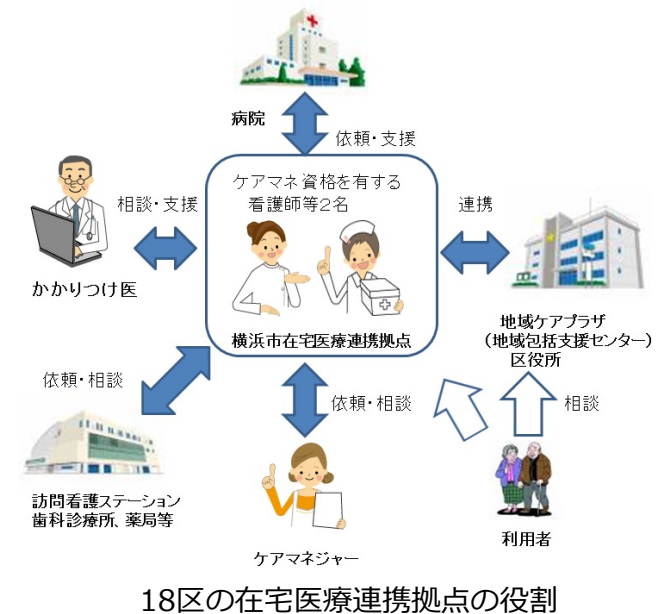
- 30年度公募から、整備量約600床に倍増

## 介護人材の確保、定着支援

- 新規介護職員への住宅借上げ支援
- 高齢者雇用を伴う介護ロボット導入支援

## よこはまウォーキングポイント第2期開始

- スマートフォン向け歩数計アプリ運用開始



地域における介護予防活動

## 都心臨海部の機能強化

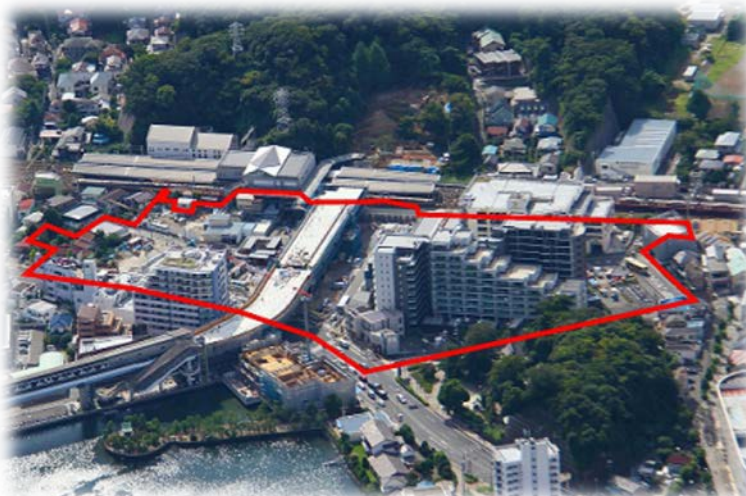
- 関内・関外地区のまちづくり  
(現市庁舎街区の活用事業者の公募等)
- エキサイトよこはま22
- 山下ふ頭の再開発
- 都心臨海部の回遊性向上  
(高度化バスシステム導入に向けた車両調達等)



現市庁舎街区

## 市街地開発の推進

- 金沢八景駅東口地区 (30年度末供用開始予定)



金沢八景駅東口地区

## 米軍施設跡地の利用推進

- 旧深谷通信所：暫定利用計画の策定等
- 旧上瀬谷通信施設：土地利用基本計画の策定等

## 国際園芸博覧会の招致

- 開催場所：旧上瀬谷通信施設跡地を想定

## 子育て環境の充実

- 待機児童対策（新たに2,795人分整備）
- 妊娠期からの切れ目のない支援  
（母子保健コーディネーターをモデル3区(計6区)配置）
- 小児医療費助成(通院助成)の対象拡大準備  
（31年4月から、中3まで拡大予定）



地域子育て拠点の風景

## 教育環境の充実

- いじめの早期発見・解決に向けた体制強化
- 中学校昼食の選択制の充実  
（30年4月から、ハマ弁の価格引下げ）

## 子どもの貧困対策

- 寄り添い型学習支援（中学生の進学支援950人）
- 施設等退所後の自立支援コーディネーター配置

## 女性の活躍支援

- 輝く女性起業家プロモーション事業

## 医療的ケア児・者、障害児・者の支援の充実

- 医療的ケア児・者等の在宅生活支援（新たにコーディネーター養成）
- 障害児・者の相談支援の充実



ハマ弁のイメージ

## 防災・減災の取組推進

- 消防団活動の充実強化、緊急輸送路の整備等
- (仮称)横浜市強靱化地域計画の策定

## 横浜港の国際競争力の強化

- 客船ターミナルの整備  
(新港9号岸壁整備、大黒ふ頭暫定CIQ施設整備)
- スカイウォークの利活用
- 新本牧ふ頭事業化検討、南本牧ふ頭の整備



大黒ふ頭 暫定CIQ施設の整備

## 交通ネットワークの充実

- 横浜環状道路の整備
- 神奈川東部方面線の整備
- 高速鉄道3号線延伸の検討調査
- 連続立体交差事業 (星川駅~天王町駅、鶴ヶ峰駅付近)

## 公共施設の保全・更新

- 市営住宅の再生 (ひかりが丘住宅の住戸内改善等)
- 計画的な小・中学校施設の建替え(基本設計3校)



before after

神奈川区松本中学校の外壁塗装工事

## 一般会計の伸び率 +5.1%で、プラス予算

会計名称	30年度	29年度	増▲減	増減率
一般会計	1兆7,300億円	1兆6,459億円	841億円	5.1%
特別会計	1兆2,955億円	1兆3,449億円	▲494億円	▲3.7%
公営企業会計	5,656億円	5,801億円	▲145億円	▲2.5%
<b>総計</b>	<b>3兆5,911億円</b>	<b>3兆5,709億円</b>	<b>203億円</b>	<b>0.6%</b>

## 一般会計予算規模の主な増加要因

### ■施設等整備費の伸び率：+29.9%

横浜環状北西線整備、新市庁舎整備、岸壁整備（新港9号・大黒ふ頭）など、完成に向けた公共投資を着実に進めていくための事業費の増

### ■扶助費の伸び率：+3.8%

保育・教育にかかる給付等の増



## 市税収入の見込み 8,126億円 (対前年度933億円の増 (+13.0%)) ※

※県費負担教職員本市移管に伴う税源移譲(842億円)を除いた伸び率: +1.3%

- 個人市民税: 864億円の増  
県費負担教職員本市移管に伴う30年度からの税源移譲による増、給与所得納税者数の増
- 法人市民税: 38億円の増  
企業収益の拡大による増
- 固定資産税・都市計画税: 44億円の増  
土地評価替えなどによる増

## 30年度予算での市債活用額

- 市債活用額: 1,716億円 (横浜方式のプライマリーバランス▲252億円 (※1))

※1 30年度から33年度までの4年間全体で、均衡を確保する方向

- 一般会計が対応する借入金残高【30年度末見込み】 3兆1,670億円 (※2)

※2 33年度末に、29年度末残高(約3兆1,600億円)以下にする方向

## 徹底した事業見直し

平成30年度 事業見直し **1,176件** 効果額 **116億円**

### ■ 主な見直し内容

- 市役所内部経費の見直し
- 民営化・委託化の取組
- 事業手法等の見直し

### ■ 効果額の推移

	件数	効果額
平成29年度	1,100件	105億円
平成28年度	1,101件	104億円
平成27年度	1,092件	102億円



横浜市トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/>

定例記者会見トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/ex/mayor/interview/>

政策局トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/>

財政局財政課トップページ

<http://www.city.yokohama.lg.jp/zaisei/org/zaisei/>